

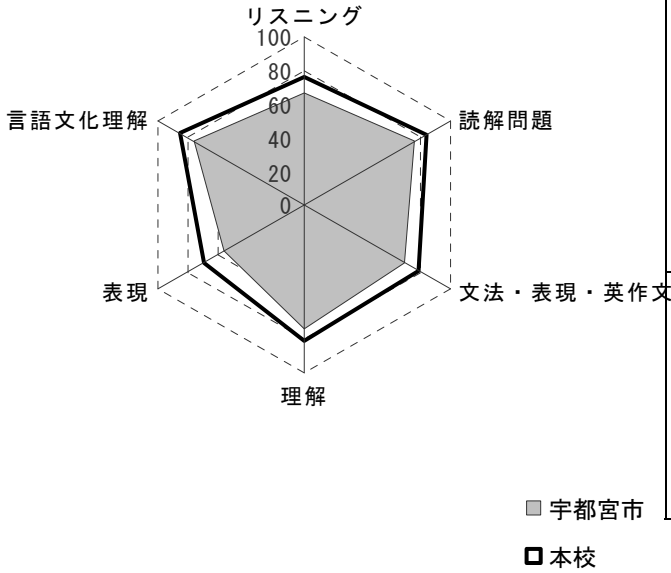
3 学年英語

1 結果

(1) 領域別・観点別平均正答率（宇都宮市と本校の状況）

■平均正答率

| | | 宇都宮市 | 本校 |
|-----|-----------|------|------|
| 領域別 | リスニング | 66.4 | 76.0 |
| | 読解問題 | 76.2 | 83.6 |
| | 文法・表現・英作文 | 68.7 | 78.9 |
| 観点別 | 理解 | 73.4 | 81.0 |
| | 表現 | 55.1 | 68.7 |
| | 言語文化理解 | 76.8 | 85.8 |
| | | | |

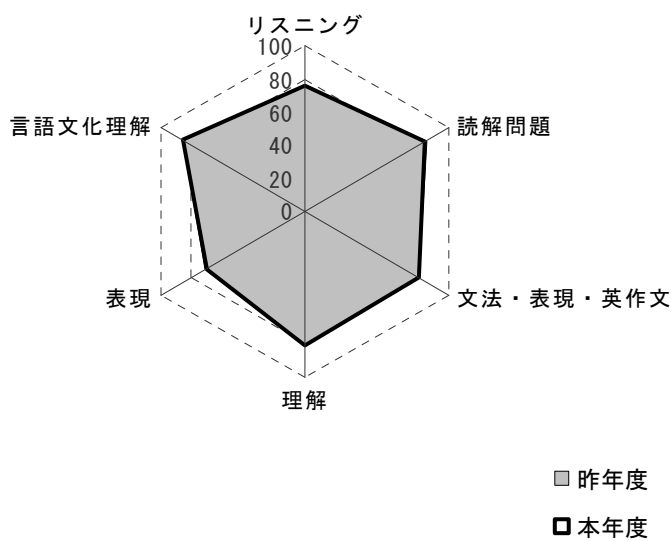


| 受検人数 | 宇都宮市 | 本校 |
|------|--------|-------|
| | 3995 人 | 194 人 |

(2) 領域別・観点別平均正答率（平成19年度と平成18年度の状況）

■平均正答率

| | | 本年度 | 昨年度 |
|-----|-----------|------|------|
| 領域別 | リスニング | 76.0 | 75.6 |
| | 読解問題 | 83.6 | 84.0 |
| | 文法・表現・英作文 | 78.9 | 79.5 |
| 観点別 | 理解 | 81.0 | 81.2 |
| | 表現 | 68.7 | 69.9 |
| | 言語文化理解 | 85.8 | 85.3 |
| | | | |



| 受検人数 | 本年度 | 昨年度 |
|------|-------|-------|
| | 194 人 | 208 人 |

※平均正答率の状況から、今後指導の重点を置くべき領域や観点を明らかにし、指導の工夫・改善を図っていきます。

2 指導の工夫・改善（3年英語）

| 領域 (平均正答率) | 平成19年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|-------------------------|---|--|
| リスニング (76.0%) | 市の平均値より9.8ポイント上回っている。また、本校の昨年度より0.4ポイント上回っているがほぼ同等の結果であろう。 | <p>日々の授業において、なるべく英語を使って授業を進めるようにしているが、今後も生徒の状況を見ながら継続したい。natural スピードに近い英語、指示すると時の英語など、日頃より生徒に慣れさせたいと考える。</p> <p>また、ALTも十分に活用したい。</p> <p>リスニングの能力は他領域とも密接に関係することもあり、3年後半においては総合的な力を見るためにもやや高度な聞き取りにも挑戦させたい。</p> |
| 読解問題 (83.6%) | 市の平均値より7.4ポイント上回っている。本校昨年度より0.4ポイント下回っているがほぼ同等と見る。 | 教科書が文法中心の配列、内容になっているため、この領域においては意図的に指導を進める必要がある。教科書の読み取り教材はもとより、補助的な教材を与え指導すれば、さらに読解力がつくと思われる。 |
| 文法・表現 英作文 (78.9%) | 宇都宮市の平均値より10.2ポイント上回っている。本校、昨年度より0.8ポイント下回っているものの、小差でありほぼ同等と見る。 | 文法の指導には1年次より特に力を注いできた。表現力・作文などは確かな文法力の上に成り立つものだからである。今後は、3年生として、基礎表現に加え、様々な表現があることを課ごとに指導していきたい。 |